



はしもと図書館報 Hi! 第92号

Hi! Vol. 92

発行: 相模原市立橋本図書館
電話: 042(770)6600 F A X: 042(770)6601

ホームページ



フェイスブック



X (エックス)

相模原市にゆかりのある人々

相模原市出身の有名人を知っていますか？

調べてみると、この人も相模原市出身だったんだ！と驚くことがあります。

今回は、さまざまな分野で活躍している相模原市出身の方の本をご紹介します！

児童文学作家・翻訳家 森比左志さん

Eカ 『はらぺこあおむし』

エリック＝カール／さく もり ひさし／やく 偕成社 1989

弁護士・小説家 衣刀信吾さん

Fイトウ 『午前零時の評議室』

衣刀 信吾／著 光文社 2025

歌手・タレント タブレット純さん

KI-28 『ムクの祈り タブレット純自伝』

タブレット純／著 リトルモア 2024

カメラマン 松橋利光さん

YA480 『プロの履歴書からわかる生きものの仕事』

松橋 利光／著 山と溪谷社 2023

◇空調改修工事のお知らせ◇

橋本図書館では、11月1日(土)から12月27日(土)まで空調改修工事を行います。
利用者のみなさまにはご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力くださいますようお願いいたします。

【諸室の利用及び資料の閲覧、貸出不可期間】

- ① 11/18(火)～22(土)：録音図書コーナー・研修室
- ② 11/26(水)～29(土)：音と映像のコーナー
- ③ 12/2(火)～6(土)：グループ読書室
- ④ 12/16(火)～20(土)：書庫

※スタッフも諸室への出入りができないため、予約された資料の提供に時間がかかる場合があります。



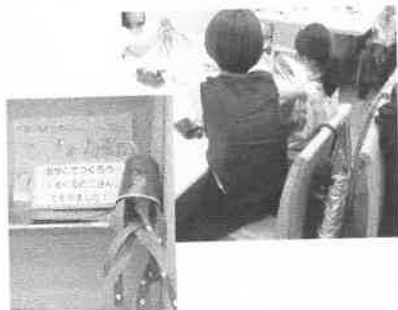
イベント報告&お知らせ



報告

工作「くるくるたこさん」

7月20日(日)

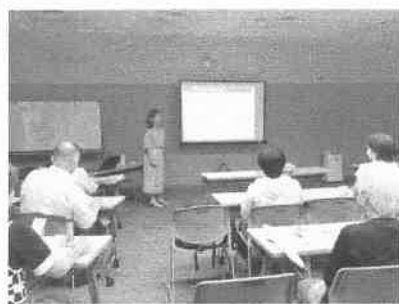


小学1、2年生のお子さんとその保護者8組が参加して、くるくる回るタコのおもちゃを作りました。難しいところは保護者に手伝ってもらいながら、それぞれ表情豊かでユニークなタコができました。最後にタコをみんなで一緒にくるくる回し、楽しい会になりました。

報告

講演会「40代からのライフプラン」

8月16日(土)



J-FLEC(金融経済教育推進機構)のファイナンシャルプランナーを講師にお招きし、講座を開催しました。子どもの教育費用をはじめ老後資金の参考費用の出し方や、NISA、iDeCo(イデコ)などの資産運用の基本を学びました。質疑応答も活発に行われ充実した講座となりました。

◇「ゆるっと講座」をご存知ですか?◇

橋本図書館で年に数回開催している大人のための講座です。

これまで「電子書籍入門」、「おとなだって絵本!」のほか、金子みすゞと八木重吉の詩を取り上げた「小学生に戻って よみ・かき・おんどく!」や、つるかめ算、数独、インド式掛け算を体験する「小学生に戻って 数を楽しむ!」などを実施しました。

今後も気軽に楽しめるテーマでみなさまの参加をお待ちしています!!

イベント予告

👉 10/17(金)・・・ゆるっと講座「大人だっておはなし会&おしゃべりタイム」

👉 10/19(日)・・・ガイドツアー「図書館たんけん隊」

👉 11/ 9(日)・・・おはなし会とブックトーク「おいしい秋みーつけた!」

*開催時期が近づきましたらご案内いたします。詳しくは館内の掲示、ホームページをご覧ください。

スタッフおススメ本



786.3

『子どもと一生の思い出をつくる星空キャンプの教科書』

G. B. 2018

キャンプに行った時に、美しい星空も見られたら…という希望を叶えてくれる本です。星空がきれいなキャンプ場の紹介や、キャンプに必要な準備、また天体観測をする際の簡単な方法が書かれています。

星座早見盤やコンパスがあれば、手軽に星空観察ができます。キャンプに行つて焚火を前に夜空を眺めるのもよし、自宅から星座を探してみるのもよし、ぜひこの一冊を手にとり秋の星空を楽しんでください。



810.4

『変わる日本語、それでも変わらない日本語』

塩田 雄大／著 世界文化社 2023

何気なく使っている日本語に疑問を持ったことはありませんか。「このことばってこういう時に使って良かったかな?」「このことばってどういう意味だったっけ?」というような違和感の解消につながるかもしれません。この本には、さまざまなことばが登場します。年代別のアンケート結果も必見。人によって本来とは異なる使い方をされていることばもあるようです。使い方が変化していく日本語、変わらずに使われ続ける日本語。日本語の面白さを再発見できます。



J58

『ひと粒のチョコレートに』

佐藤 清隆／文 junaida／絵 福音館書店 2023

私たちがふだん口に入っているチョコレートには、驚くような長い歴史と試行錯誤を重ねた工程があることを、わかりやすくかわいい絵と、チョコレート研究の第一人者である佐藤清隆さんの文で綴っています。絵を見るだけ、文を読むだけでも楽しめる一冊となっています。

読み終えた後は、まるでチョコレートの世界の旅を終えたような感覚になり、理解が深まり、より一層美味しく新鮮にチョコレートを味わうことができそうです。



404

『渡り鳥たちが語る科学夜話』

全 卓樹／著 朝日出版社 2023

人類はこの世界の謎について、長きにわたり探究し、解き明かしてきました。これまでの偉大な発見のカケラたちが理論物理学者の著者によって再度美しく、繊細に紐解かれていきます。全20話の夜話はどれも文学的で科学的。

一見相反する二つの要素が溶け合った文章に魅せられて、秋の夜長をしっとり過ごしてみませんか。気に入ったなら同著者の前作『銀河の片隅で科学夜話』も手に取って。



コーナーについて



橋本図書館YAコーナーには、中高生世代のみなさんが楽しめる小説のほかに、進路や就職を考えるときに役立つ本、勉強方法についての本もあります。また、展示コーナーでは、「部活動」「ほっとする本」などのテーマで本の特集展示をしています。ぜひ遊びにきてください！

中学生、高校生世代が作る橋本図書館の冊子「YouthfulDays+PLUS」の編集委員を募集中！



☆YA大賞 2025 受賞作品決定！☆

短歌部門

『春すぎて 夏になっても 青春は
くるけはいなく 心だけ冬』

おめでとうございます！

ペンネーム よしくん

詳しくは「YouthfulDays+PLUS秋号」をご覧ください

しろくまさんのぶらぶらいこう

著者によると、ライフワークにしている「ゆる鉄」とは、ローカル線に乗っている時に感じるゆる～い雰囲気や旅情をテーマにした鉄道写真のこと。

豪快に雪煙を上げて走る北海道宗谷本線のラッセル列車から、南国の日差しを浴びたシーサー越しに見る沖縄のゆいレールまで、日本の四季の風景とともに鉄道を撮った作品集です。

ゆる鉄カメラマンらしい遊び心と、絶妙のアングルで瞬間を切り取るプロの技に惹きつけられます。作品に添えられた文も、さりげないのにあたたかく、写真をぐっと引き立てており、著者の思いを感じます。

鉄道絶景を旅気分で見ながら、しばし日常を離れてみませんか。



686.21

『地図と楽しむ中井精也の鉄道絶景』

中井 精也／写真・文 地理情報開発／編
平凡社 2023

